

081

戦争

自由国民社

工



## 地雷ではなく花をくださいシリーズ

じらいではなくはなをくださいシリーズ

表紙: サニーのおねがい 地雷ではなく花をください

文 柳瀬房子 絵 葉祥明

「足をなくしても 手をなくしても ころを失うことがないように 希望をすてることがないように」。この本に載っている言葉です。私たちは平和な国に住んでいますが、世界にはまだ紛争や戦争をしている国や、戦争が終わっても地雷の被害に苦しんでいる人々が多くいることをこの本で知りました。カンボジアでは1970年からの長い戦争で、いたるところに地雷が埋められています。地雷で足を失い家族に見捨てられた子や、亡くなってしまった子もいます。自分と同じ世代の人たちが苦しんでいて、無関係ではないなあと思いました。／牧の池中 A.M

かわいい絵と平和への強いメッセージが心に響きます。

082

戦争

金の星社

9136



## ガラスのうさぎ

がらすのうさぎ

作 高木敏子

私たちが体験したことのない東京大空襲。家族のほとんどを戦争で失った主人公の心の叫びと思いが胸に響きます。

083

戦争

新潮社

9136



## 二十四の瞳

にじゅうしのひとみ

作 壺井栄

新米の大石先生と無邪気な生徒たちの人生は、戦争のため過酷なものへ。強く生きる先生に勇気をもらえるはずです。

084

戦争

ポプラ社

302



## ぼくが見た戦争—2003年イラク

ぼくのみたせんそう—2003ねんいらく

写 高橋邦典 文 高橋邦典

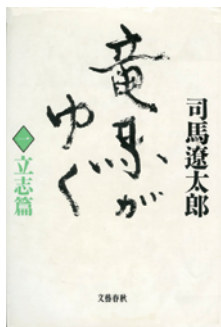
作者は自ら戦争をしている国に出向き、銃弾や砲弾の中、写真を撮り、戦争をなくそうとしています。写真が多くて読みやすい本です。

085

歴史

文藝春秋

9136



## 竜馬がゆくシリーズ

りょうまがゆくしりーず

表紙:竜馬がゆく1 立志篇

著 司馬遼太郎

この本は坂本竜馬の一生が書かれています。小さいころ竜馬はとても泣き虫だったそうです。強い印象があったので、本当にビックリしました。みんなの知っている勝海舟やペリーも出てきます。とても面白いので、歴史のきれいな人、本が苦手な人でもすらすら読めます。／山田東中 Y.A  
一番すごいと思ったのは、徳川家、最後の将軍に大政奉還させた場面です。長いですが、読み応えがありますので、読んで「すごい」と感じてください。／萩山中 ニッシー

この作品は、幕末が舞台の歴史小説ですが、さわやかな竜馬の生き方と成長をつづった青春小説でもあります。読めば、元気な気分になります。

086

歴史

岩波書店

923



## 三国志シリーズ

さんごくししりーず

表紙:三国志(上)

作 羅貫中 編 小川環樹・武部利男

蜀、呉、魏の三つの国が天下をとるために戦いづけます。日本の歴史が好きな人もこの本で中国の歴史を知ってください。

087

歴史

PHP研究所

9136



## 信長と秀吉と家康

のぶながとひでよしといえやす

著 池波正太郎

歴史は人によって見解が違います。いろいろな作者の本を読むとたくさんのとらえかたがわかるようになります。

088

歴史

PHP研究所

9136



## 小説 細井平洲

一人を育て、善政を扶けた実学の人

しょうせつ ほそいへいしゅう  
ひとをそだて、ぜんせいをたすけたじつがくのひと

著 二宮隆雄

尾張(今の愛知県西部)に生まれた平洲は米沢藩に招かれ、藩を改革していきます。信頼と友情を訴え、感動させられる本です。



089

詩

JULA出版局

9115

## わたしと小鳥とすずと —金子みすゞ童謡集

わたしとことりとすずと—かねこみすゞどうようしゅう

作 金子みすゞ

いつも見過ごしてしま  
うくらい自然すぎることを  
題材にした詩が集めて  
あります。優しい詩を心  
で感じてみてください。



090

詩

角川書店

9115

## そしてまた波音

そしてまたなみおと

作 銀色夏生

自分の中の暗い部分  
が言葉一つ一つで柔らか  
くなっていきます。読後は  
すっきりして優しい気持ち  
が生まれると思います。



# I like books!!

## What is your favorite book?

選定委員からの  
メッセージ

詩



銀色夏生さんの作品は、うまいかないつらさやどうしたらいいかわからない不安を、やさしく表現して  
います。中学生になり、不安定な気持ちになることも多いと思います。でもことばにしてさしだされるこ  
とで、まったく同じ内容ではなくても、自分の悩みに気付いたり、心が落ち着いたりすることもあります。

一方の金子みすゞさんの作品は、身のまわりの本当にささいなことをことばにおこした内容です。私  
たちがいかに、日々多くのものごとや気持ちを見過ごしているかということに気付かされるものでもあり  
ます。

伝えたいことを伝えるために詩人によって選りすぐられたことばは、とてもきれいなものです。また様  
様な表現技法を使っていて、現実にはありえないのになぜか気持ちにぴったりとあてはまってしまふ、な  
んてこともあります。文学作品の中でも詩は特に、個人の感性によって「好き」な作品が変わってくる  
ものです。できるだけ多くの作品にふれて、ぜひ自分の好きな詩を見つけてください。